

# NORMALIZATION



うっとおしい季節ですが、笑顔を忘れずに...

# 協会だより

第15号

三浦市保健福祉サービス協会  
三浦市城山町六一六  
☎82-1111 内線三七七

## 老人施設機能強化の8モデル

厚生省老人福祉部が、今年度の新規事業として行われる「老人福祉施設機能強化モデル事業」の詳細を、先月末に明らかにしました。

以下がその8事業です。①在宅福祉と特別養護老人ホーム(特養)の連携②特養におけるミドルステイ③契約制特養モデル④特養、老人保健施設とケアハウスの合築モデル⑤ヘルパー活動型ケアハウスモデル⑥特養のリハビリ強化モデル⑦ボランティア活用モデル⑧特養のOA化。

訪問入浴サービス事業実績表

項目	4月	5月	6月	計
対象者数	2人	5人	9人	10人
訪問回数	7回	11回	12回	30回

平成4年6月23日現在  
※6月末の月間実績は、対象者9人、訪問回数16回の見込みです。

四月より本格的に動きだした入浴専用車が好評を博しています。上の実績表をご覧になってもおわかりのとおり、月を追うごとに着実に利用者との稼働回数が伸びています。対象となるのは、原則として既存の入浴サービスを利用していない方とさせていただきます。お問い合わせは、サービス協会まで。

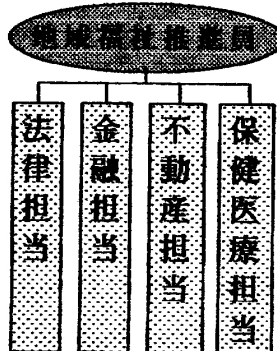
皆さんは、生活支援地域福祉相談室をご存じでしょうか。同相談室は平成二年十月にスタートし、法律・金融・不動産・保健医療といった、日常生活全般の相談に応じ

ています。この相談室の特徴は、生活援助員という分野の専門家が、直接お応じるところにあります。まずはお電話をして

今月は、法律・金融・不動産・医療保健相談に応じる、生活支援地域福祉相談室を紹介!

## 利用下さい!生活支援地域福祉相談室

みて下さい。常駐の相談員(地域福祉推進員)が、相談内容に応じて生活援助員におつなげします。(下図参照)一人でも思い悩まずに思い切ってご相談ください。



お問い合わせ先は、☎81-7725まで。

## フル回転!好評入浴車

# 唯一の悩み解消!

困っていたのはお風呂!協会の入浴車が、介護を楽にしてくれました!

あしたのために



由紀枝さんとナツさん

## 城ヶ島 池田由紀枝さん

「とてもしつかりし方が寝たきりになった方だったので、この前は今から一年半ほどな状態になってしまっ

たときは、可哀相とい

ちよりも情けない気持ち献身的な介護が続いて一杯でした」

池田の家に嫁いで二十

は役割分担が出来上が

り、家屋の掃除について

「姑はとてもしつかりし方が寝たきりになった方だったので、この前は今から一年半ほどな状態になってしまっ

たときは、可哀相とい

ちよりも情けない気持ち献身的な介護が続いて一杯でした」

池田の家に嫁いで二十

は役割分担が出来上が

り、家屋の掃除について

「姑はとてもしつかりし方が寝たきりになった方だったので、この前は今から一年半ほどな状態になってしまっ

たときは、可哀相とい

ちよりも情けない気持ち献身的な介護が続いて一杯でした」

池田の家に嫁いで二十

は役割分担が出来上が

り、家屋の掃除について

「姑はとてもしつかりし方が寝たきりになった方だったので、この前は今から一年半ほどな状態になってしまっ

たときは、可哀相とい

ちよりも情けない気持ち献身的な介護が続いて一杯でした」

池田の家に嫁いで二十

は役割分担が出来上が

り、家屋の掃除について

「姑はとてもしつかりし方が寝たきりになった方だったので、この前は今から一年半ほどな状態になってしまっ

たときは、可哀相とい

ちよりも情けない気持ち献身的な介護が続いて一杯でした」

以後二十年以上も崩れることがありませんでした。

ナツさんが、協会の訪問入浴サービスを利用するようになったのは先月のこと。調査訪問に同行したヘルパーが、その行き届いた介護に脱帽していたの

「ですから姑ともめたことなどありません。それに姑の言うことは絶対でしたからね」

「考えてみれば、一番大変なのは姑です。明るい部屋で、綺麗にしてあげたいと思うじやありませんか」

「余計に私を不安にさせました。今までは、姑の言うことをハイハイと聞いていればよか

そんな由紀枝さんが今一番楽しみにしているのは、月に一度横浜で一人暮らしをするミナミさんのところへ泊まりがけで遊びに行くこと。その時だけは、近所に住む長女清子さんが、ナツさんの面倒をみに来てくれます。

「一人娘のミナミが独立し、自分のことも少しは考えられるようになったその矢先です。

最大の賛辞をもって由紀枝さんを労ってくれます。

「それが、こうして二人の間にはバランスのとれた関係が出来上がり、

そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。

「そして炊事を始めとする家事全般をナツさんが受け持つようになり

「そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。」

「そうして二人の間にはバランスのとれた関係が出来上がり、

「そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。」

「そして炊事を始めとする家事全般をナツさんが受け持つようになり

「そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。」

「そうして二人の間にはバランスのとれた関係が出来上がり、

「そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。」

「そして炊事を始めとする家事全般をナツさんが受け持つようになり

「そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。」

「そうして二人の間にはバランスのとれた関係が出来上がり、

「そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。」

「そして炊事を始めとする家事全般をナツさんが受け持つようになり

「そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。」

「そうして二人の間にはバランスのとれた関係が出来上がり、

「そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。」

「そして炊事を始めとする家事全般をナツさんが受け持つようになり

「そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。」

「そうして二人の間にはバランスのとれた関係が出来上がり、

「そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。」

「そして炊事を始めとする家事全般をナツさんが受け持つようになり

「そろそろ結婚して二十六年、主婦らしい生活も悪くないと思うようになってきました。」

# サービス協会の職員紹介



市役所に四十四年勤めた経験を活かして、協会の庶務全般を担当しているのが、出口妙子さんです。

## 事務員 出口妙子さん

利用者の方々と直接ふれあうことのない職種ですが、協会にはなくてはならない存在です。

出口さん自身、在宅で両親を看取った経験があり、それもここでの仕事には役立っています。

そんな出口さんにお話を伺いました。

「私が両親の面倒をみていた頃に比べて、制度的には大分充実してきたと思います。当時はサービス協会などなく、福祉用具の貸し

出しや訪問看護婦の派遣などありませんでした。」と、当時の福祉を取り巻く状況を振り返る出口さん。そしてこう続けてくれました。「サービス協会は皆さんのためにあるのです。遠慮なさらずに、いろいろなサービスをご利用ください。」

と、いって、これだけのことが協会のことをご存じでしょうか。正直言って私自身、ここでのお世話になる前までは、協会のことなど知りませんでした。もっとももっとPRしなくてはなりませんね。」

これからの抱負は？という問いに「まだまだ分からないことばかりですが、一生懸命頑張ります。」と笑顔で応える出口さんでした。

## さわやか福祉推進センター

# ボラ切符全国ネット化構想

まずシステムの研究から

高齢化社会の大きな課題の一つである、介護問題の解決を図るため、ボランティア活動への動議づけと、ボランティア切符制度の普及と全国ネットワーク化構想を提唱している団体があります。

元法務省官房長の堀田力さんが所長を勤める

## 話題

『さわやか福祉推進センター』がそれです。同センターは、これまでボランティア切符の全国ネットワーク化を呼びかけ、先月二十二日には、三浦文夫・日社大学長を座長に厚生省・労働省などの行政機関、ボランティア切符制度を実施している在宅サービス団体などの関係者で構成される研究会を開きました。

研究会には、①システム部会②コンピュータ部会③普及部会の三部会があり、約半年かけて調査・研究を行った後、報告書の作成と、具体的システムづくりを目指すことになりました。

センターの試算では、当初は百組織、ボラン

ティア数十万人でスタートし、最終的には、五千組織、ボランティア千二百万人によるネットワークを想定しているそうです。当初設備費も五億三千万円、月額運営費四百万円、最終的には二百七億円を必要としています。

また、多額の資金が必要となることから、企業の協力も積極的に求めていく姿勢をとっています。

その手立てとして、企業や組合内に社員間の介護相互援助システムを導入することも提案しています。

### 事務所移転の お知らせ

お知らせが遅れてしまいました。サービス協会の事務所が、先月15日付けで福祉会館二階、三階玄関から階段を下って右手突き当たりの部屋に移転しました。

# お年寄りのための骨折予防

## 健康ワンポイントアドバイス

お年寄りは、骨折しやすく、また、いったん骨折すると、治りも悪く、療養のため寝込むことにより筋肉の力が弱くなって寝たきり状態になってしまいうることもよくあります(東京都の調査では八・三割は骨折が原因)。特に骨折しやすいのは、手首、腕の付け根、背骨、大腿骨です。

お年寄りが骨折しやすい原因の一つは「骨が弱い」ことです。医学的にはこのことを骨粗しょう症といいます。骨が、ちょうど大根に「す」が入ったようにスカスカになり、もろく、潰れやすくなります。

年をとればとるほど、男性よりも女性に多く、65才以上の約半分が骨粗しょう症にかかっているといわれます。

骨折しやすいもう一つの原因は「転びやすい」ことです。単に転んだだけで骨折することもありますが、「つまづいた・滑った・ふらついた」が転倒の三大原因といわれています。ですから、転倒を防ぐことが骨折予防の一番のポイントです。具体的には、階段には滑りどめや手すりをつける、床は滑らないようにする、室内の整理整頓をする、通路・階段・風呂・トイレ等の照明は明るくする、などです。

●財団法人厚生問題研究所「さわやか・健康92」より転載。

甲斐田基の訪問リハビリ日記は、休載させていただきます。

日常生活用具継続貸与申請のお願い  
三ヶ月の貸与期間が過ぎていないにもかかわらず、継続貸与申請をしていない方がいらっしゃいます。

待機者もいらっしやいますので、必ず手続きを済ませるようにしてください。

### 介護教室関係事業

七月の予定  
市、社協、保健所、美山ホームの四機関共催事業となる「ふれあい広場(23日開催)」と「介護者とボランティアの集い(30日開催)」が、ともに保健所で開催されます。

「一広場」は保健所、「一集い」は社協までお問い合わせください。

投稿大募集！  
協会だよりでは、皆様からの投稿を募集しております。ドシドシお寄せください。

### 寝たきりにさせない家庭介護の手引き

高齢社会の到来によって、その重要さを増しているのが家庭介護の問題。それをイラスト付きで分かりやすく解説しているのが本書である。

### 図書室

単に介護の方法だけでなく、終末期の介護である「ターミナルケア」や、福祉情報についても触れられていることが特徴。排泄、食事、入浴、リハビリ、ほけの対応など、実生活に即したハウツーも載っている。

「医療の高度化で多くの人が助かるようになったが、それを支えるのは市民。高齢社会を迎えた今、医師主導の医療から市民参加型医療への変換が重要となっている。」とは、監修者の弁。

●三百八十頁・千八百円・小学館

### 今、民間企業が提供する在宅介護サービスが注目を集めている。市場を通じて販売する「民生活福祉」は、すでにあちこちで芽を吹いているが、民間企業としては採算がとれないのも事実。▼政府も、シルバー産業の中でも、特に有料老人ホームには規制を強めているようだが、もちろん法の網を潜った悪徳業者も存在する。ことこの分野に関しては、公の積極的な介入が、消費者保護につながるだろう。現存する公制度だけでは、介護の問題が解決しないというならば、なおのことだ。▼しかし、こうした民生活福祉も、いわゆるパブリックなサービスが充足され、しかも国民の最低需要が満たされなければ、あまり意味がない。公の責任：失ってはならない視点だ。